

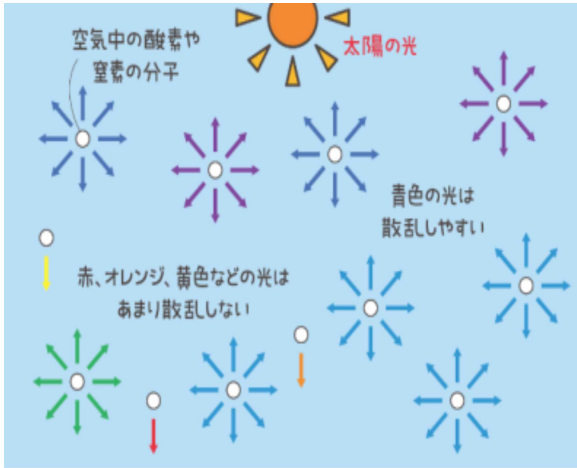


### 『空はどうして青く見えるの』

学校長 有村 恵

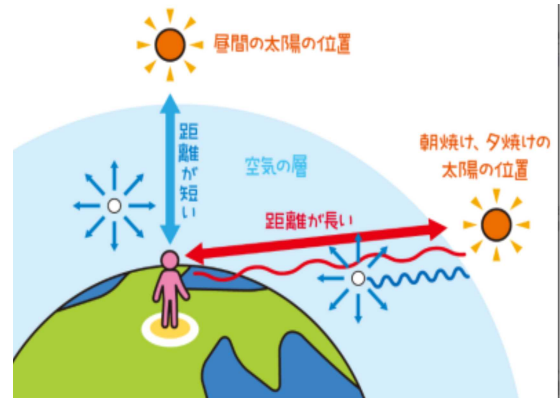
校庭から空を望むと松尾城址の山々の緑と刈り取り前の黄金色に輝く稲穂のコントラストが見事に調和しています。故郷の変わらぬ原風景です。秋空は、空気が澄んでいるせいか、どこまでも青が深いのです。さて、そんな青空を見ながら、かつて受け持った1年生の子供の質問をふと思い出し、また『先生、空が青いのはどうしてなの。』私は不意を突かれ、満足に答えることができませんでした。そこで、自戒を込めて調べてみました。(参考『講談社コクリコ』から)

空が青く見えるのには、「太陽の光」と「空気」の2つが大きく関わっています。太陽の光は白っぽく見えますが、実は赤・橙・黄・緑・青・藍・紫と様々な色を混ぜています。空気が混ざると、短い波長の光は散乱しやすくなり、長い波長の光はあまり散乱しにくくなります。その結果、空が青く見えます。



太陽の光は白っぽく見えますが、実は赤・橙・黄・緑・青・藍・紫と様々な色を混ぜています。空気が混ざると、短い波長の光は散乱しやすくなり、長い波長の光はあまり散乱しにくくなります。その結果、空が青く見えます。

そのままだけが、全部の色が混ざって見えます。朝焼けや夕焼けは、太陽が地平線近くにあるとき、太陽の光が空を通る距離が長くなるため、短い波長の光が散乱しやすくなり、長い波長の光が残りやすくなるため、赤やオレンジの光が目立ちます。



これは、多くの場合、上空に漂っている水蒸気やPM2.5などの微粒子が原因で、空が白っぽく見えます。これは、水蒸気やPM2.5などの微粒子が空気を濁らし、光が散乱しやすくなるためです。また、山の上など、空気が澄んでいるところは、空気が薄いため、空が青く見えます。

以上を説明してみよう。太陽の光は、実は赤・橙・黄・緑・青・藍・紫と様々な色を混ぜています。空気が混ざると、短い波長の光は散乱しやすくなり、長い波長の光はあまり散乱しにくくなります。その結果、空が青く見えます。

澄んだ秋空を校庭から見上げながら、まだまだ知らないことが多いことを反省し、何事も学んでいかなくてはならないなと思うことでした。

## 令和5年度吉野地区学校保健研究協議会が行われました

10月18日(水)に令和5年度吉野地区学校保健研究協議会が行われました。本校の研究主題を「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きぬく力を育む健康教育の推進」～「食」で育む児童の心とからだ～と題し、学校における取組(給食指導, 野菜作りや米作りなど)や学校保健委員会での取組に(親子料理の実施と紹介・講演会等), について発表を行いました。

また、研究協議では、13グループに分かれて本校のテーマ「食育」について学校や家庭での取組や課題等について協議を行いました。どのグループも、家庭での食の取組について活発な意見が出されました。

最後に、学校医や鹿児島市教育委員会の先生方から「食」の大切さに関する指導助言をいただきました。吉野地区15小中学校の保護者約100名が来校していただきました。御参加いただいた皆様ありがとうございました。



## 校内読書月間 (ペア読書・読書祭り・読み聞かせなど)



ペア読書



秋祭り



読み聞かせ

10月は校内読書月間でした。ペア読書や・読書祭り・先生方や保護者による読み聞かせ等様々な取組が行われました。読書祭りのアニメーションでは、全校で大いに盛り上がりを見せ、楽しく活動することが出来ました。読書に関する様々な取組を実施することで、本に出会う良い機会になったと思います。本大好き吉田っ子が今後も増えますように…。

## 吉田小フォト (10月) 「稲刈り」



## 健康教室

10月25日(水)5・6年生を対象に健康教室を行いました。学校薬剤師の木下先生がたばこ・お酒・薬物等の危険性について動画を交えてお話をしてくださいました。病院で処方された薬も定められた分量以上に摂取すると薬物乱用になることを学びました。身近に潜んでいる危険。薬物について改めて考える良い機会となりました。

